

あなたの声で 大幅賃上げへ チェンジ



賃上げあっても
物価上昇にはゼンゼン足りない!

とまらない物価上昇

7月の値上げ(前年同月比。2024年8月発表の総務省資料より)



生鮮果物
9.6%↑



生鮮野菜
5.2%↑



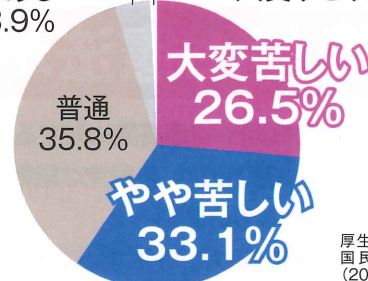
電気代
22.3%↑



ガス代
7.4%↑

「生活が苦しい」約6割

ややゆとりがある 3.9%
大変ゆとりがある 0.7%



厚生労働省「2023年
国民生活基礎調査」
(2024年7月発表)より

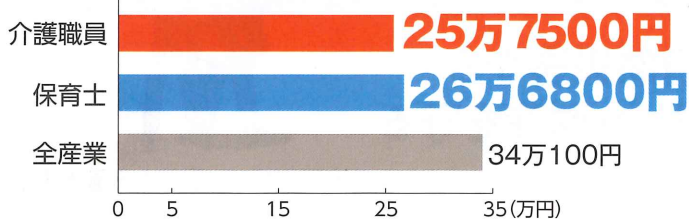
広がる格差と貧困にストップを

食事や衣類も光熱費も…何もかも高くなるばかりで、生活実感は苦しくなる一方です。大企業は内部留保がついに600兆円を超え、空前の利益を上げています。にもかかわらず、物価高騰に見合う賃上げが労働者にまわってきていません。一部の役員や株主への配当に富が集中するしくみの改善が必要です。

最低賃金はますます 1500円以上へ 全国一律制への 法改正を

地域間
格差の
解消へ

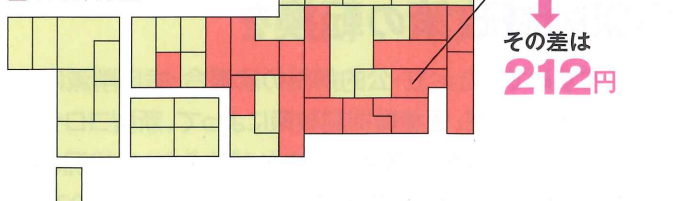
ケアワーカーと全産業平均との賃金の差



福祉保育労「私たちの人権を守れ! 3.14 福祉職員賃上げ・増員アクション」チラシより
※厚生労働省・賃金構造基本統計調査(2022年実施)の毎月きまって支給する額。時間外手当、深夜・休日・宿日直・交替手当などを含む税・社保料控除前。

医療、介護、保育など福祉職場の人手不足が大きな社会問題になっています。人手不足の原因には、他産業を大きく下回る賃金水準や、配置人員の少なさによる長時間労働など、劣悪な処遇と職場環境があります。安全・安心の社会を実現するためにも、抜本的な改善を求めていきましょう。

最低賃金(2024年地方答申より)



最高額の東京と最低額の県との差は212円で、格差は少し縮まりました。それでもフルタイム換算で年収38万円超の差になります。物価高騰の中で、街角でのアンケートでは「2000円は必要」との声が多数出されています。全国一律制の最低賃金制度へ轉換し、全国どこでも1500円以上を実現させましょう。

賃上げで、だれでもどこでも安心してくらせる社会に